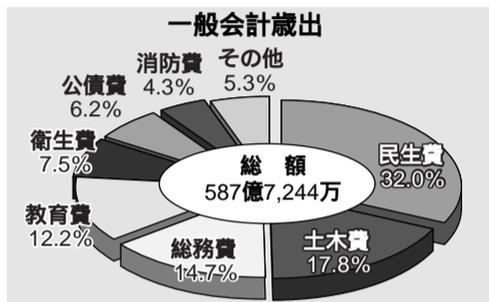
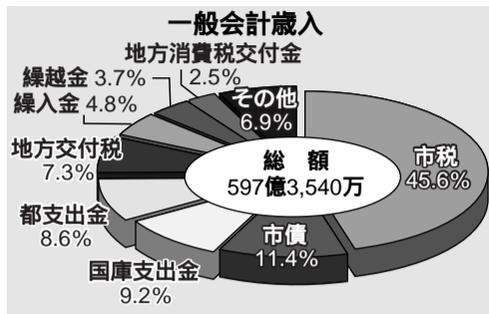


特別委員会の主な審査状況



平成14年度各会計の決算概要

会計名	収入済額	支出済額	収入支出差引額
一般会計	597億3,541万円	587億7,244万円	9億6,297万円
国民健康保険	127億5,913万円	123億8,261万円	3億7,652万円
下水道事業	46億2,550万円	45億7,449万円	5,101万円
受託水道事業	16億1,132万円	16億1,132万円	0円
中小企業従業員退職金等共済事業	8,643万円	7,280万円	1,363万円
老人保健(医療)	133億9,157万円	131億7,293万円	2億1,864万円
駐車場事業	2億3,352万円	2億1,666万円	1,686万円
介護保険	64億6,433万円	64億1,855万円	4,578万円
計	989億721万円	971億9,010万円	17億7,711万円

予算科目の説明	歳入	歳出
市債	市が長期に借り入れたお金	
繰入金	市の貯金(基金)から繰り入れたお金	
民生費	高齢者・障害者などへの福祉にかかる費用	
土木費	道路・公園の整備などにかかる費用	
総務費	市役所の運営、財産管理などにかかる費用	
衛生費	保健衛生関係、ごみ収集、公害対策などにかかる費用	
公債費	市債(長期の借金)の返済にかかる費用	

決算特別委員会の主な審査状況

一般会計決算
決算全般について
【質問】14年度決算の収支状況について、どう評価しているのか。
【答弁】経費削減等に努め、実質的な収支において26市中4位の黒字を確保できた。しかし、経常収支比率が悪化している中で、歳入の確保と歳出の削減により健全化を図っていききたい。国の三位一体改革、都の財政再建計画、交付税問題等課題を踏まえつつ、行政水準を維持できるような16年度予算の編成作業に入っていく。

【質問】調整交付金が2億5千万円増になった理由と使い道について。
【答弁】13、14年度に2市分交付されるか不明だったため、慎重に見積もった。福祉、教育、環境等ソフトの施策の一般財源を補充して行政水準の維持向上を図る。

合併との関係について
【質問】合併効果について監査意見書に書かれているが具体的に聞きたい。
【答弁】合併効果として、まず国・都からの財政支援として総額62億7,700万円、歳出面の削減効果としては人件費等で9億6,700万円。これらを活用してのまちづくりの充実としては、新市建設計画に掲げる53事業のうち42事業について実施済みまたは着手済みとなっている。
【質問】新市建設計画の財政計画との差異は。
【答弁】行政制度の改正や社会経済環境の変化、事業の進捗状況によって差異が出ている。歳入でのマイナスは市税9億9,500万円、地方交付税は臨時財政対策債が地方債に振りかえられている関係で17億2,500万円、都の支出金19億9,400万円、繰越金22億4,000万円。歳出でのマイナスは人件費13億9,100万円、投資的経費56億4,400万円。歳出面のプラスは積立金が36億円となっている。

外出支援サービスについて
【質問】不用額が出ているにもかかわらず、移送サービスをしてほしいという請願も出ている。この関係は。
【答弁】外出支援については、民間で幾つかの形で行われている。介護保険による実施事業者が市内にできてくれればということはあるが、今後のあり方については検討していきたい。
国際化推進行事での保育実施について
【質問】予算が執行されていないが、前向きな検討を。
【答弁】男女平等のフォーラムで保育を実施しているが、実際に利用される方が少ない。

全庁的には会議での保育実施については課題として検討したい。
保谷駅南口再開発事業について
【質問】事務所を構えてどういう成果が上がったのか。
【答弁】関係権利者との交渉は夜間になることが多く、打ち合わせの場所としている。今後計画の位置づけを明確にし、事業の進捗を図りたい。

【質問】学校図書費についてもっと充実すべきではないか。本が好きなお子も育てることが重要だ。
【答弁】図書費は交付税措置され、小学校は91%増、中学校は37%増の予算化をしており、近隣市に比べても充実している。
【質問】教育情報センターの職員体制は、子どもたちが情報を得るのにスローダウンするということはないか。
【答弁】職員体制は情報教育専門員の嘱託員と指導課と学務課の職員である。有害情報の排除と個人情報保護の保護、学校の情報共有化ということでセンターが必要である。

【質問】学校図書費についてもっと充実すべきではないか。本が好きなお子も育てることが重要だ。
【答弁】図書費は交付税措置され、小学校は91%増、中学校は37%増の予算化をしており、近隣市に比べても充実している。
【質問】教育情報センターの職員体制は、子どもたちが情報を得るのにスローダウンするということはないか。
【答弁】職員体制は情報教育専門員の嘱託員と指導課と学務課の職員である。有害情報の排除と個人情報保護の保護、学校の情報共有化ということでセンターが必要である。

改善ができるよう体制を整えたい。
【結果】賛成多数で認定
国民健康保険特別会計決算
【質問】レセプト点検の人員をふやして大変効果が上がっているようだが、今後の対応は、また市民の自己点検のPRはしているのか。
【答弁】14年度の点検員は5名で、15年度に1名増員した。加入者の増により点検枚数がふえているが、国でも進める電子化について、企画部とも協議しながら検討していきたい。市民へのPRについては、国保の特集号を全戸配布する際の記事に含めていきたい。

【結果】賛成多数で認定
受託水道事業特別会計決算
【結果】賛成多数で認定
中小企業従業員退職金等共済事業特別会計決算
【結果】賛成多数で認定
老人保健(医療)特別会計決算
【結果】賛成多数で認定
駐車場事業特別会計決算
【結果】賛成多数で認定
介護保険特別会計決算
【結果】賛成多数で認定

【結果】賛成多数で認定
受託水道事業特別会計決算
【結果】賛成多数で認定
中小企業従業員退職金等共済事業特別会計決算
【結果】賛成多数で認定
老人保健(医療)特別会計決算
【結果】賛成多数で認定
駐車場事業特別会計決算
【結果】賛成多数で認定
介護保険特別会計決算
【結果】賛成多数で認定

【結果】賛成多数で認定
受託水道事業特別会計決算
【結果】賛成多数で認定
中小企業従業員退職金等共済事業特別会計決算
【結果】賛成多数で認定
老人保健(医療)特別会計決算
【結果】賛成多数で認定
駐車場事業特別会計決算
【結果】賛成多数で認定
介護保険特別会計決算
【結果】賛成多数で認定



ミニSLで楽しむ親子(市民まつり)

【質問】都市計画変更すら決定していないのに、先行取得するのは納得しがたい。
【答弁】平成12年12月に都市計画決定を受けており、この決定の範囲内と考える。
【質問】保谷駅は練馬区民の利用者も多いが、練馬区長とは協議したのか。
【答弁】練馬区の事情もあるが、区長も関心を示していた。
【質問】公益施設の面積が、4千㎡とかなり広いが、市長の考えは。
【答弁】16年度予算編成の中で公共施設適正配置との整合性を図りながら方針を出していく。資金はスクラップ・アンド・ビルドにより捻出する。

【結果】賛成多数で認定
受託水道事業特別会計決算
【結果】賛成多数で認定
中小企業従業員退職金等共済事業特別会計決算
【結果】賛成多数で認定
老人保健(医療)特別会計決算
【結果】賛成多数で認定
駐車場事業特別会計決算
【結果】賛成多数で認定
介護保険特別会計決算
【結果】賛成多数で認定

【結果】賛成多数で認定
受託水道事業特別会計決算
【結果】賛成多数で認定
中小企業従業員退職金等共済事業特別会計決算
【結果】賛成多数で認定
老人保健(医療)特別会計決算
【結果】賛成多数で認定
駐車場事業特別会計決算
【結果】賛成多数で認定
介護保険特別会計決算
【結果】賛成多数で認定

【結果】賛成多数で認定
受託水道事業特別会計決算
【結果】賛成多数で認定
中小企業従業員退職金等共済事業特別会計決算
【結果】賛成多数で認定
老人保健(医療)特別会計決算
【結果】賛成多数で認定
駐車場事業特別会計決算
【結果】賛成多数で認定
介護保険特別会計決算
【結果】賛成多数で認定

【結果】賛成多数で認定
受託水道事業特別会計決算
【結果】賛成多数で認定
中小企業従業員退職金等共済事業特別会計決算
【結果】賛成多数で認定
老人保健(医療)特別会計決算
【結果】賛成多数で認定
駐車場事業特別会計決算
【結果】賛成多数で認定
介護保険特別会計決算
【結果】賛成多数で認定

予算特別委員会の主な審査状況

一般会計補正予算(第3号)
(賛成多数 可決)
保谷駅南口再開発事業費について
【質問】第1街区の保留床に公益施設を導入するというが、公共施設配置計画との整合性を、庁内検討は行われたのか。保留床買取資金はどう捻出するのか。
【答弁】16年度予算編成の中で公共施設適正配置との整合性を図りながら方針を出していく。資金はスクラップ・アンド・ビルドにより捻出する。
【質問】営業補償は、みずからの意思で営業をやめる場合にも行うのか。市が公社から買戻したときに損失が出た場合、その責任は。
【答弁】営業補償は、やむを得ない場合に行う。損失は市の負担となる。
【質問】都市計画変更すら決定していないのに、先行取得するのは納得しがたい。
【答弁】平成12年12月に都市計画決定を受けており、この決定の範囲内と考える。
【質問】保谷駅は練馬区民の利用者も多いが、練馬区長とは協議したのか。
【答弁】練馬区の事情もあるが、区長も関心を示していた。
【質問】公益施設の面積が、4千㎡とかなり広いが、市長の考えは。
【答弁】16年度予算編成の中で公共施設適正配置との整合性を図りながら方針を出していく。資金はスクラップ・アンド・ビルドにより捻出する。